

コモディティ・ アルファ戦略ファンド

追加型投信／海外／その他資産（商品）／
特殊型（ロング・ショート型）

日経新聞掲載名：コモディα戦

2024年12月3日から2025年12月1日まで

第4期 決算日：2025年12月1日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、商品(コモディティ)市場に着目して安定的な収益を追求する運用戦略の成果に概ね連動する債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額（期末）	15,023円
純資産総額（期末）	733百万円
騰落率（当期）	-1.6%
分配金合計（当期）	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

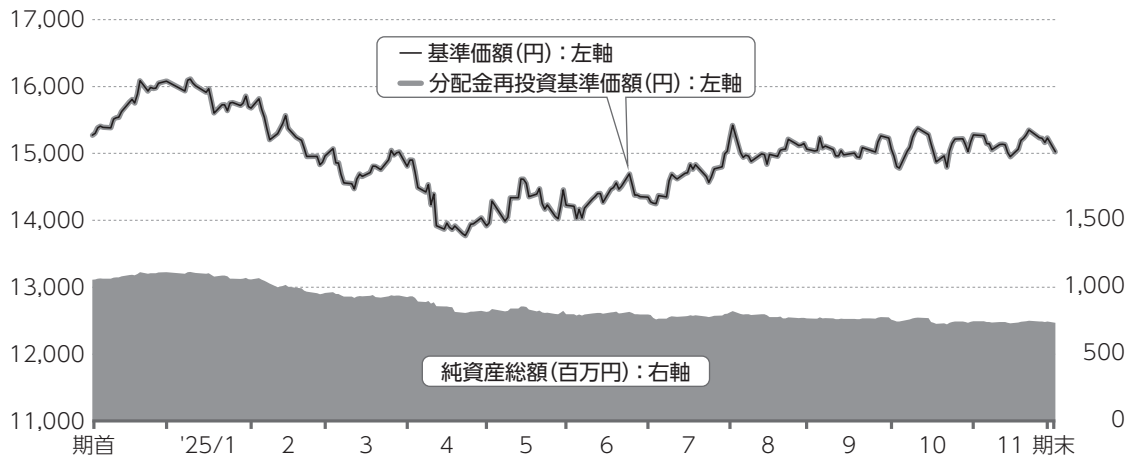
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきましますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年12月3日から2025年12月1日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	15,272円
期末	15,023円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-1.6% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2024年12月3日から2025年12月1日まで)

商品(コモディティ)市場に着目して、安定的な収益を追求する運用戦略(コモディティ・アルファ戦略。以下、「本運用戦略」といいます。)の成果に概ね連動する担保付連動債券(米ドル建て)に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す運用を行いました。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんでした。

上昇要因

- 為替市場で米ドル高・円安となり、米ドル建て債券の評価額が上昇したこと

下落要因

- 本運用戦略を構成するバックワーデーション戦略およびタームセレクト戦略ともにマイナス寄与となったこと

1万口当たりの費用明細 (2024年12月3日から2025年12月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	115円	0.768%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は14,937円です。
(投 信 会 社)	(46)	(0.307)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(66)	(0.439)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	5	0.036	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.031)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	120	0.804	

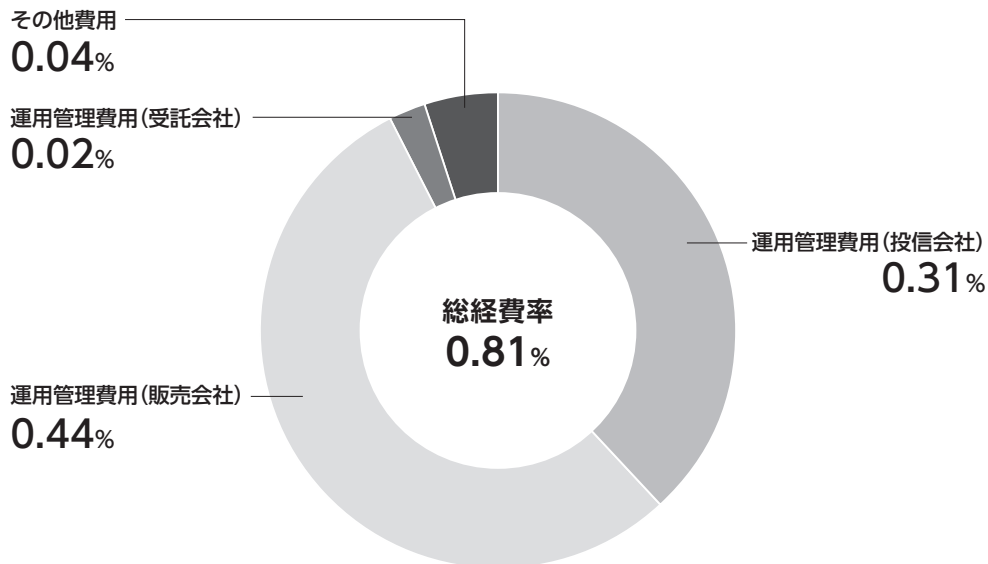
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※当ファンドは担保付連動債券(米ドル建て)を通じて本運用戦略および米国短期金利による損益を受けます。また、本運用戦略による損益は先物売買コストおよび証拠金調達コスト(年0.60%)ならびに指数管理コスト(インデックスライセンス料、メンテナンス費用)(年0.25%)を控除したものとなります。ただし、当該戦略に関する費用は上記の各費用には含まれていません。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は0.81%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2020年12月1日から2025年12月1日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年12月14日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



	2021.12.14 設定日	2022.11.30 決算日	2023.11.30 決算日	2024.12.2 決算日	2025.12.1 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,562	14,792	15,272	15,023
期間分配金合計(税引前)(円)	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	25.6	17.8	3.2	-1.6
純資産総額 (百万円)	100	2,712	1,275	1,055	733

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2024年12月3日から2025年12月1日まで)

商品市況は金などの貴金属を中心に上昇しました。為替市場では、米ドル高・円安となりました。

商品市況

期を通じて、各国中央銀行の買い需要や米利下げ期待から金や銀など貴金属が大きく上昇しました。農産物はコーヒーや大豆が上昇した一方、コーンや小麦が下落するなど品目の需給等によりまちまちな展開となりました。また原油は世界的な景気減速懸念や在庫の積み上がりを受けて下落する展開となりました。コモディティ指数全体で見ると主に貴金属が

牽引して上昇する展開となりました。

為替市場

米ドル・円は、期中には米国の相互関税による不透明感や米金利低下を受けて、米ドル安・円高に転じる局面はあったものの、期を通じては日米金利差が引き続き意識され、米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2024年12月3日から2025年12月1日まで)

本運用戦略では、品目ごとの異なる商品特性に着目し、商品先物取引を活用したバックワーデーション戦略とタームセレクト戦略を組み合わせることで、安定的なリターンの獲得を目指しました。同時に、ロングポジション(買い建て)およびショートポジション(売り建て)を同額程度組み合わせることで、価格変動リスクを抑制することを目指しました。

期間においては、バックワーデーション戦略において主に貴金属のウェイトを減らして

いたことがマイナス寄与となりましたが、コーヒーのウェイトを増やしていたことなどはプラス寄与となりました。

また、タームセレクト戦略は主に天然ガスや暖房油の季節性効果などがマイナス寄与となりました。その他、当ファンドが投資対象とする連動債からは米ドル短期金利に連動する金利収入が付与されるため、当該短期金利収入もプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について(2024年12月3日から2025年12月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2024年12月3日から2025年12月1日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第4期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	5,023

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

本運用戦略に概ね連動する担保付連動債券(米ドル建て)に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。外貨建資

産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

3 お知らせ

約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2025年4月1日)

交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

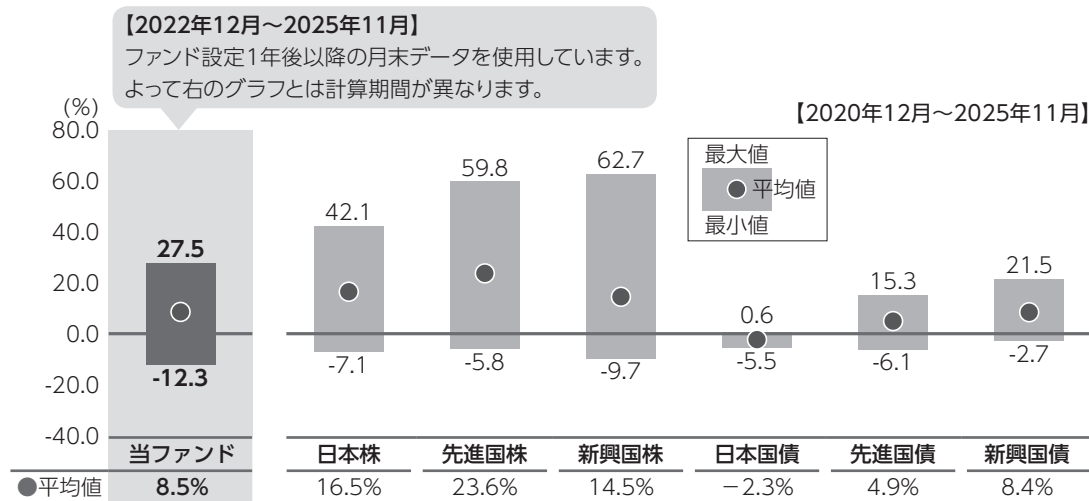
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(商品)／特殊型(ロング・ショート型)
信託期間	2021年12月14日から2031年12月1日まで
運用方針	商品(コモディティ)市場に着目して安定的な収益を追求する運用戦略の成果に概ね連動する債券に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	コモディティ・アルファ戦略の投資成果を反映する担保付連動債券(米ドル建て)
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■「コモディティ・アルファ戦略(以下「本運用戦略」ということがあります。)」の投資成果を反映する担保付連動債券(米ドル建て)に投資します。 ■本運用戦略では、商品先物取引を活用し、ロングポジション(買建て)およびショートポジション(売建て)を同額程度組み合わせ、安定的な収益の確保を目指します。 ■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資は行いません。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年11月30日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div>

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

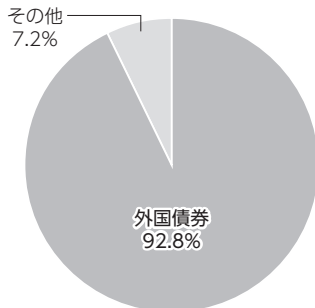
当ファンドの組入資産の内容 (2025年12月1日)

組入上位銘柄

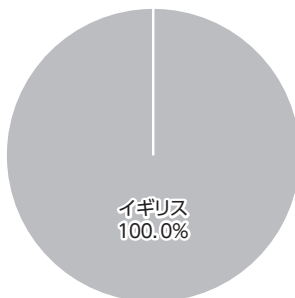
	銘柄名	組入比率
1	BCCAATSP/BARCLAYS 0 12/07/27	92.8%
全銘柄数		1銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

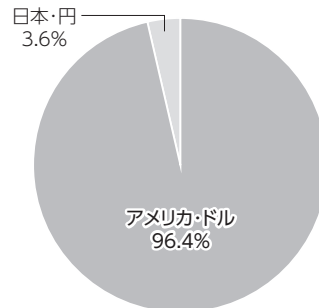
資産別配分 (純資産総額比)



国別配分 (ポートフォリオ比)



通貨別配分 (純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第4期末 2025年12月1日	※当期における、追加設定元本額は0円、解約元本額は 202,862,571円です。
純資産総額 (円)	733,988,257	
受益権総口数 (口)	488,563,327	
1万口当たり基準価額 (円)	15,023	